



くりはら

市議会だより

第45号

平成27年11月16日

栗原市合併10周年記念事業

祭交流 ふれあいフェア



平成26年度 まちづくり総額704億円を認定 2

補正 関東・東北豪雨災害に24億円 8

3 常任委 補正予算を審査 11

一般質問 市政に19人登壇 14

「私もひとこと」

佐藤 祥子さん(栗駒)・佐藤 行寛さん(高清水) 24

平成26年度

決算

まちづくり総額704億円を



行財政改革の成果を評価

9月定例議会

9月定例議会は決算議会とも言われており、9月8日から10月2日まで25日間の会期で開かれました。

一般質問では19人の議員が登壇し、市長と論戦を展開しました。また、平成27年9月関東・東北豪雨による災害復旧費などの補正予算、条例改正の議案を審議し、すべて原案のとおり可決しました。

平成26年度一般会計(450億円)、特別会計(254億円)、事業会計の決算は、決算特別委員会を設置し、集中審査を行いました。本会議で採決の結果すべての決算を原案のとおり認定しました。

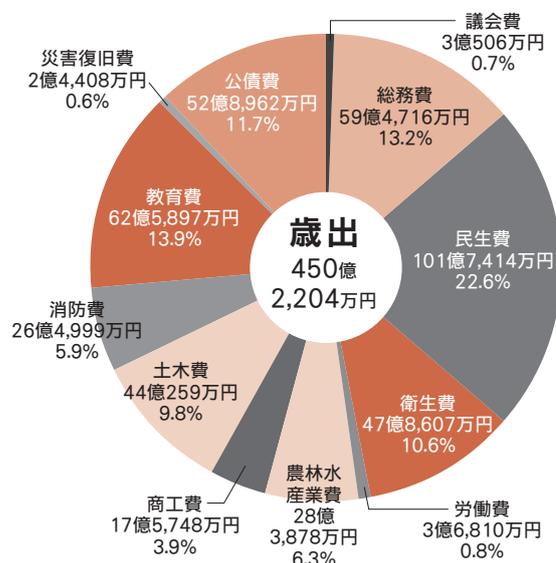
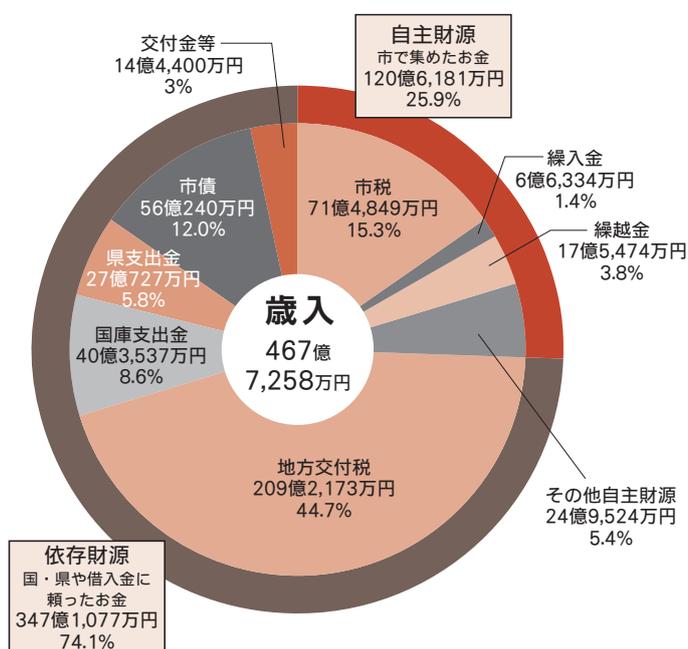


観光客でにぎわう「くりでん」



市内を巡るイベント広報車

●一般会計決算の状況



こんなふうに使われた市のお金

平成26年度は、合併10年目の節目の年でした。市政運営の理念である「市民が創る くらしたい栗原」の実現に向けて「もっと前進」していくために「新たな7つの成長戦略」が加わりました。

お金の使われ方の概要をお知らせします。



●平成26年度末の市債(借入金)と基金(積立金)の状況

(万円未満四捨五入)
※人口は、平成27年3月末人口：7万1924人

項 目	金 額	備 考
市債(借入金)残高 ※一般会計分	443億2,539万円	
	61万6,281円	市民一人あたり(円未満四捨五入)
基金(積立金)残高 ※財政調整基金分	115億7,924万円	
	16万993円	市民一人あたり(円未満四捨五入)

決算審査

住民のためにどう仕事をしたか

平成26年度の一般会計や9特別会計・2事業会計の決算は、議会議員が全員（議長を除く）で構成する決算特別委員会（委員長 相馬勝義議員）で審査しました。

住民のためにどのような仕事をしたのか、市政全般にわたり、多くの質疑がありました。

主な質疑をお知らせします。



相馬委員長

税務課

問 平成26年度歳入状況は

答 平成25年度とくらべて平成26年度当初予算編成時点では給与所得は3割、営業所得で5割、農業所得で3割、全体で4・3割それぞれ減の見通しと聞いていたが、どうなったか。

答 平成26年度所得で大きく落ち込んだのは農業所得で39・8割、営業所得は3・7割、雑所得で1・9割減で全体として2割減である。

問 市民税で1300万円、固定資産税の現年分367万円、滞納繰越分で2600万円の不納欠損の理由と固定資産税現年分の不納欠損の評価額は

答 法人の破産、相続放棄など、その後継承する人がなく公示送達を行っても現れない場合に不納欠損の手続をとっている。不納欠損の多くは建物部分で件数は59件で2億5141万4000円である。

問 観光振興を図っている中で入湯税が103万円減額になった理由は何か。

答 宿泊数で3338人、14・4割減、日帰り客で6648人、4・3割減となっており、他に日帰り入浴施設が増えたこと、主にゆめぐり関連で消費税アップに伴い施設利用料が増えたことが要因しているのではないかと捉えている。

問 平成26年度のラスバイレス指数と県内の市の中ではどの水準か。平成26年度の職員数の削減と第2次集中改革プラン計画期間における削減人数の合計は何人か。

答 93・5割で9番目に位置している。平成26年度の削減数は11人で、5年間の削減数は126人となっている。

人事課

問 集中改革プラン職員の削減数は

答 平成26年度のラスバイレス指数と県内の市の中ではどの水準か。平成26年度の職員数の削減と第2次集中改革プラン計画期間における削減人数の合計は何人か。

答 93・5割で9番目に位置している。平成26年度の削減数は11人で、5年間の削減数は126人となっている。

企画課

問 膨大な事業費が必要スポーツパーク構想

答 スポーツパーク構想では、ホッケー場整備や合宿所整備の事業が考えられていたと思う。膨大な事業費がかかるこの事業構想について事務方はどう考えているか。

答 事業を検討する際は費用対効果を考慮してきた。今後も考慮し事業の検討を行っていく。

市民協働課

問 使いづらい一括交付金

答 コミュニティ一括交付金について市民から使いづらいつの声も聞くがどう捉えているか。

答 毎年12月に一括交付金の説明会を総合支所単位で行っている。申請書、実施報告書の記載で簡略できるものなどを相談を受けながら行っている。



観光客に足湯を提供

建設課

河川愛護団体へ
県や市の方針は

川の流れを阻害する
河川の支障木の対応

問

河川愛護団体の構成員が高齢化しているが、これからの県や市の方針はどうなっているか。

答

自助、共助、公助という考えがあるが、従前どおり地域の皆さんで管理してもらう事が、市の願いである。またその一助として愛護会への補助金という形で考えている。

問

9月11日の大雨でも支障木が川の流れを阻害し、越流や決壊につながったと思う。災害発生前の対応願うが市の考えは、指摘があった箇所等を含めてパトロールをしながら、県へ内容を伝え、対応するよう強く要望していく。

答

9月11日の大雨でも支障木が川の流れを阻害し、越流や決壊につながったと思う。災害発生前の対応願うが市の考えは、指摘があった箇所等を含めてパトロールをしながら、県へ内容を伝え、対応するよう強く要望していく。



「旧くりでん」鉄橋の流木

国道4号バイパス
早期実現の努力を

問

国道4号の4車線化、バイパス整備が遅れている。早期実現に向けて努力すべきと思うが市の考えは。

答

今後も国や県に国道4号の拡幅と併せてバイパス化を強く要望していきたい。

産業戦略課

4商工会の
合併状況は

問

市内4商工会の合併状況はどうなっているか。

答

平成21年9月に二次合併検討委員会を立ち上げ、協議を行ってきたが、現在のところ、はっきりとした方向性は定まっていないと聞いている。商工会等の意見を聞きつつ、市としても出来ることをやっていきたい。

田園観光課

基金14億
円
使用目的は

問

観光施設整備基金は、5億5000万円積み立て、14億6500万円になる。その目的は、

答

ゆめぐりグループが管理している施設が概ね20年を迎え、大きな修繕が予想されるため積み立てる。

2工業団地の
工事の進捗は

問

工業団地の工事の進捗率は。また、工業団地を見に来た企業数はどれくらいか。

答

8月末現在で、第2大林農工団地が77.2割、三峰工業団地が75.6割。見学に来ていただいた企業の引き合い件数で18件、1企業が複数の場所をみる場合もあるので延べ23カ所の引き合いである。

農業政策推進室

農地・水保全管理
活動状況はどうか

問

平成26年度、農地・水保全管理活動は、

答

平成26年度、農地・水保全管理活動は、水保全管理活動に取り組んでいる組織は135組織、平成25年度が111組織で24組織の増となっている。内容は農地維持ならびに資源向上活動で、共同活動、農道等の補修、草刈、泥上げなどの活動を行っている。

下水道課

下水道の水洗化
向上の改善策は

問

下水道の水洗化率向上のための改善策は、

答

水酸化率は66.2割。水洗化を促進するために、水洗便所等改造資金利子補給、排水施設設置工事費助成、水洗化促進奨励金、単独浄化槽切替助成、平成27年度からは合併浄化槽切替助成を行っている。



長年の夢がかなう

社会福祉課

あったかトイレ
進み具合は

緊急通報システムは
希望者全員に設置か

問

高齢者の利用が多い公共施設と集会施設のトイレを洋式化し、温水洗浄便座を設置する、「あったかトイレ整備事業」の進捗状況は。

答

対象218施設のうち、平成26年度は74施設完了した。残りは平成27年度に実施する。

問

ひとり暮らし高齢者世帯などに設置の緊急通報システムについて、平成26年度末現在で169台設置しているが、希望者全員に設置されたのか。また緊急要請の実態は。

答

要綱に従って設置している。平成26年度は本人からの緊急ボタン等による救護要請が9件あったほか、センサー不動による警備会社からの連絡により救急要請を行った例もある。



炊飯設備がある一迫の給食センター

健康推進課

出産育児一時金
金額はいくらか

答

平成27年1月から40万4000円を、出産した病院が産科医療制度に加入している場合は1万6000円を加算して支給している。

問

国民健康保険加入者の出産育児一時金はいくらか。

教育総務課

給食費の単価
なぜ違うのか

給食費の未納
今後の対応は

問

給食費の単価が給食センターや学校によって違う。理由は何か。

答

一迫学校給食センターにおいては炊飯設備があるため米を賤い材料費として購入しており、他の施設は炊飯されたご飯を購入しているために単価が違っている。

問

給食費の収入未済額が増えている状況だが、今後どのように対応していくのか。

答

滞納整理期間を増やして対応している。電話催促や学校への協力依頼、催告書の送付などを行っているが、未納解消に取り組んでいきたい。公平性を欠くことのないようさらに徴収方法を検討していく。

学校教育課

市外中学校への
入学者の状況は

問

栗原市内の小学生が、どのくらい市外の中学校に入学しているのか。

答

平成27年度の新学期時点で24人の卒業生が市外の中学校へ入学している。入学希望動機は、中高一貫教育の魅力や大学進学を見据えて等が考えられる。

医療管理課

東北大の医師
増減はあるか

問

昨年、医学部を誘致出来なかったが、東北大医学部との関係において、医師数の増減に影響はあるか。

答

栗原中央病院では、平成26年4月に29人、平成27年4月に28人で、通常の医療局人事での増減ととらえている。研修医についても東北大学病院から受入しており、従来通りの体制が維持できているので、影響はないと考えている。



医療の拠点「栗原中央病院」